

向陽学府 新たな学校づくり検討会

かわら版

令和3年9月

磐田市では、小中一貫教育やコミュニティ・スクールのさらなる推進を図り、学府一体校など新時代に合わせた新たな学校づくりを進めています。

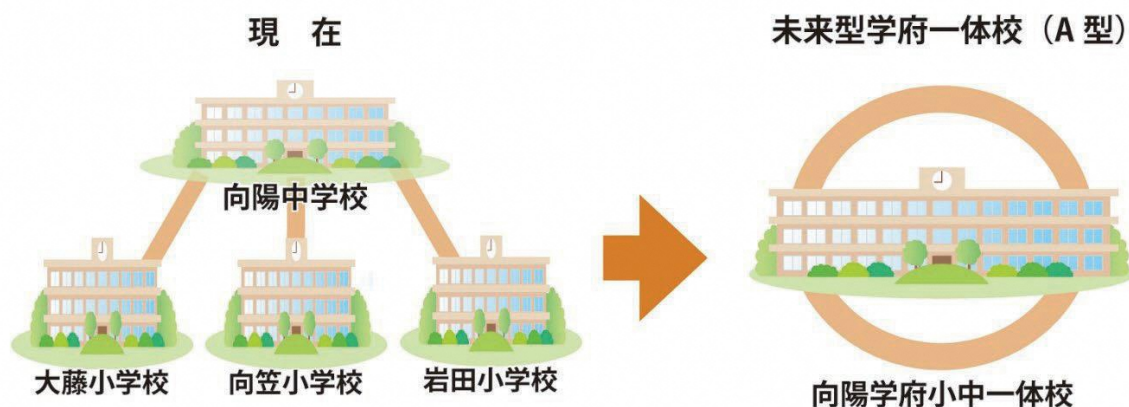
向陽学府でも令和元年に住民の皆様からの要望を受けて、新たな学校づくり検討会を立ち上げました。

これまで、計5回の検討会を開催し、向陽学府小中一体校の「形態」「建設地」「コンセプト」「整備の基本方針」「多機能型施設」等について検討しました。ここでは、それぞれの検討経過や結果をご報告します。



向陽学府小中一体校は「未来型学府一体校（A型）」※で意見がまとまりました。

向陽学府小中一体校の形態について検討しました。検討の結果、人と人の深いつながりを大切にし、多様な人々と協働しながら問題を解決していく力や自分が目指すものや自分がどうなりたいかを描く力が重要となるこれからの時代に向けて、多くの仲間や地域の方との交流の中で、これまで以上に人とつながる力やたくましさを育むことができる「未来型学府一体校」とすることで意見がまとまりました。



※ 未来型学府一体校（A型）とは、学府にある小学校と中学校をすべて施設一体型として一つの敷地に設置する形態を示す。

■ 決定の背景

- ▶ これからの時代を生きていくためには、人と人の深いつながりを大切にし、多様な人々と協働しながら問題を解決していく力や、自分がどうなりたいかを描く力が求められます。
- ▶ 向陽地区の小中学校児童生徒数は令和2年現在、782人（1学年約87人）です。人口推計では、令和7年以降に人口が減少に転じ、令和26年には600人（1学年約67人）を下回ることが予測されています。
- ▶ 「未来型学府一体校（A型）」では、多くの仲間や地域の方との交流の中でこれまで以上に人とつながる力やたくましさを育む事ができます。

■ 検討会での意見

- ・ 地域から提出した要望書は未来型学府一体校をイメージしたものである。
- ・ 今後の人口推移を見ると未来型学府一体校がふさわしい。
- ・ 低学年がいると上級生はしっかりしなくてはいけないという意識が働くなどのよさがある。

建設地は「向陽中学校敷地」で意見がまとまりました。

向陽学府小中一体校の建設地についても検討しました。その結果、向陽中学校の敷地を学府一体校の敷地とすることで意見がまとまりました。今後の計画段階では、子どもたちの安全な動線や保護者の駐車場の確保など、様々な課題について検討していくことを確認しました。

向陽学府と学校の位置図



向陽中学校の敷地図



校舎必要延床面積と必要校地面積

	小学校	中学校	一体校
校舎・施設に必要な延床面積 (㎡)	7,907	6,469	14,376
必要な校地面積* (㎡)	12,590	13,850	26,440

※ 階数：校舎 3 階建て、その他施設 1 階建ての場合

各候補地の敷地面積と評価

	敷地面積	評価
向陽中学校 +市有地 2,016 ㎡	31,109 ㎡	・校地面積充足 ・学府の中心部に位置 ・人口分布状況にも適合
大藤小学校	19,666 ㎡	・校地面積不足 ・学府の中心部に位置
向笠小学校	21,566 ㎡	・校地面積不足 ・学府の東部に位置
岩田小学校	20,851 ㎡	・校地面積不足 ・学府の西部に位置

■ 決定の背景

- ▶ 向陽学府小中一体校の敷地は、向陽学府の中心部に位置する場所が望ましいと考えられます。
- ▶ 人口分布は学府南側に偏っており、向陽中学校は人口分布状況にも適合しているといえます。
- ▶ 学校施設に必要な校地面積は 26,440 ㎡であり、向陽中学校のみが充足しています。他の小学校では敷地面積が不足し、敷地拡張が必要となるため、整備期間が増大の課題があります。
- ▶ 校地面積、整備期間、人口分布状況の観点から、向陽中学校の敷地が最も適しています。
- ▶ 通学距離が一定以上となる場合、スクールバスを運行し、遠距離通学の負担軽減を図ります。なお、利用者の範囲の指定は、高低差等の地理的条件が大きく異なる場合を除き、原則自治会単位とします。

■ 検討会での意見

- ・ 向陽中学校の敷地でよいと思うが、複数の学年の保護者が集まっても十分な駐車場を確保してほしい。
- ・ 向陽中学校北側の道路を拡幅するなどして、事故がないように計画してほしい。

学府小中一体校は以下のような学校づくりを目指します！

向陽学府小中一体校コンセプト及び整備の基本方針と、多機能型施設について事務局から提案がありました。それを受けて、委員の方から様々な意見と質問がありました。会議の結果、コンセプト・基本方針・多機能型施設整備の方向性を決定し、施設の詳細については今後の基本計画や設計の中で検討していくことを確認しました。

コンセプト

「日本一やさしさが育つ学校」

●向陽学府が目指すたくましい磐田人

- 多様な人やモノ、コトへの「やさしさ」をもった人
- やさしさを発揮する「つよさ」をもった人
- 誰かの、何かの役に立とうとする「こころざし」をもった人

●整備の基本方針

1. 学級数の変動や多様な学習に対応する多機能で柔軟な施設
2. 児童生徒の心のゆとりを生む快適な施設
3. 児童生徒、地域、教職員のつながりの深化を創出する施設
4. 児童生徒等の安全・安心を考えた施設
5. 既存施設（体育館等）の活用検討
6. 学校活動への配慮等

●多機能型施設整備の方向性

1. 地域連携室
…地域と学校との連携を促進
2. (仮称) 福祉交流支援室
…地域にある福祉施設との交流を支援
3. ランチルーム
…交流給食や学年集会に対応
…地域の方との多様な体験の創出
…災害時に対応
4. 共同調理場
…学府内こども園・幼稚園への配食や災害時に対応
5. 放課後児童クラブ
…放課後の安全・安心な居場所

■検討会での意見

整備の基本方針について

- ・ 敷地内の安全な動線を計画してほしい。
- ・ 多様性に配慮したトイレを設置する必要がある。
- ・ 敷地内に交番があるとよい。

コンセプト・多機能施設について

- ・ やさしさが育つというコンセプトは向陽学府にふさわしくてよいと思う。
- ・ 多機能型施設も大切だが、基本となる学校施設を充実させてほしい。
- ・ 災害時に授乳室として使えるよう工夫してほしい。

■事業スケジュール

令和2年度

令和3年度

令和3年度の基本計画でスケジュールを検討

基本構想

基本計画

基本設計・実施設計

建設

開校

新たな学校づくり検討会とは？

<検討会発足の経緯>

平成 27 年 4 月～ 「磐田市新たな学校づくり研究会」の発足、平成 28 年 2 月に報告書を発行

平成 30 年 6 月～ 向陽学府の地域住民や保護者に対して説明会を実施

令和 元年 5 月 向陽 3 地区の地域づくり協議会が「新時代の新たな学校づくり」推進のための要望書を提出

令和 2 年 9 月 「向陽学府新たな学校づくり検討会」の発足

<検討会の開催目的>

「磐田市新たな学校づくり研究会報告」を踏まえ、小中一貫教育に適した学校施設整備の基本構想・基本計画策定に向けて、課題整理、基本方針、施設機能及び想定規模等の検討を行う。

<委員（計 24 名）>

- 学識経験者 千葉大学大学院工学研究科教授
- 地区代表 向陽学府 3 地区長および住民代表
- 保護者代表 向陽学府小中学校および幼・保・こども園の保護者代表
- 学校・園代表 向陽学府の小中学校長、幼・保・こども園長
向陽学府コミュニティ・スクール・ディレクター
- 静岡県教育委員会義務教育課指導監



<検討会・ワークショップの日時と内容>

	日 時	協 議 内 容
第 1 回 検討会	令和 2 年 9 月 29 日（火） 18：30～20：30	・委嘱状交付 ・検討会の進め方について ・講演「これからの学校施設計画の課題」 講師 千葉大学大学院工学研究科 柳澤要教授
第 2 回 検討会	令和 2 年 11 月 5 日（木） 15：00～17：00	・特色ある教育活動について ・向陽学府小中一体校の形態について ・建設地について
第 3 回 検討会	令和 2 年 12 月 15 日（火） 15：00～17：00	・向陽学府小中一体校コンセプト及び整備の基本方針について ・多機能型施設について
第 4 回 検討会	令和 3 年 3 月 24 日（水） 15：00～17：00	・向陽学府小中一体校基本構想について ・かわら版について
第 5 回 検討会	令和 3 年 5 月 31 日（月） 15：00～17：00 及び	・向陽学府小中一体校基本構想案、かわら版について ・諸室配置事項等について ・ローリング計画について
ワー ク シ ョ ッ プ	令和 3 年 8 月 6 日（金） 18：30～20：30	・多機能型施設の具体的な利用・活用方法について
第 6 回 検討会	令和 3 年 8 月 27 日（金） 18：30～20：30	・向陽学府小中一体校基本構想案、かわら版について ・ワークショップ報告 ・諸室及び配置事項等について

向陽学府 新たな学校づくり検討会 かわら版 発行：令和 3 年 9 月
 【事務局】磐田市 教育委員会事務局 教育部 教育総務課 学府一体校推進室
 〒438-8650 静岡県磐田市国府台 3-1 TEL：0538-37-2115 FAX：0538-36-1517